

予算特別委員会記録

1. 日時 令和6年6月6日(木)

午後 2時55分 開会

午後 3時41分 閉会

2. 場所 白鷹町役場 議場

3. 議題 (1) 議第45号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算(第1号)について

(2) 議第46号 令和6年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

(3) 議第47号 令和6年度白鷹町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

○出席委員(11名)

2番	衣袋正人	委員	3番	横山和浩	委員
4番	竹田雅彦	委員	5番	佐々木誠司	委員
6番	丸川雅春	委員	7番	金田悟	委員
8番	笹原俊一	委員	9番	山田仁	委員
10番	関千鶴子	委員	11番	今野正明	委員
12番	遠藤幸一	委員			

○欠席議員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	佐藤誠七
副町長	田宮修
教育長	衣袋慶三
総務課長	長岡聡
税務出納課長	高橋浩之
企画政策課長	加藤和芳
町民課長	大木健一
健康福祉課長	永沢照美

商工観光課長	黒	澤	和	幸
農政課長併 農業委員会事務局長	橋	本	秀	和
林政課参与 (兼)課長	永	野		徹
建設課長	菊	地		智
上下水道課長	鈴	木	克	仁
病院事務局長	片	山	正	弘
教育次長	橋	本	達	也
監査委員	竹	田	謙	一
総務課長補佐 兼財政係長	鈴	木	秀	昭
総務課長補佐 兼総務係長	梅	津	友	宏

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	小	林		裕
補佐	大	瀧	勇	祐
書記	竹	田	雅	紀子

開 会

〈午後2時55分〉

○開会の宣告

○委員長（山田 仁） ご参集、誠にご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第2回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第1号）外2件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、お手元に配付の補正予算審査文書表のとおり、一般会計から順に、令和6年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決したいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） ご異議がないので、そのように進めることに決しました。

なお、質問される方、答弁なさる方は、それぞれ簡潔明瞭にされるよう申し添えます。

また、質問される方はページを示してください。

○議第45号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） それでは、議第45号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

初めに、補正予算説明書の概要についての説明を求めます。長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） ご説明申し上げます。

令和6年度補正予算説明書の概要をご覧ください。2ページからになります。

初めに、一般会計の概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置への対応として、低所得者支援及び定額減税補足給付事業を講じつつ、主要施策であります森林・林業再生事業等への追加実施や公共施設の老朽化対策など、緊急性の高い事業について対応したものであります。

初めに、歳入でございます。

款、補正額、主な内容をご説明申し上げます。

14款国庫支出金9,447万6,000円、社会保障・税番号制度システム整備費補助金387万6,000円、デジタル田園都市国家構想交付金82万5,000円の減額、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金8,974万3,000円、子ども・子育て支援交付金20万1,000円、児童虐待防止等対策総合支援事業費補助金82万5,000円、公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金61万2,000円などがございます。

15款県支出金1,633万5,000円、放課後児童健全育成事業20万1,000円、魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業487万円、農地利用効率化等支援事業341万2,000円、林業・木材産業循環成長対策事業727万2,000円、山形県みどり環境交付金52万6,000円などでございます。

16款財産収入2,289万3,000円、間伐材等売払い収入でございます。

18款繰入金1,100万円、公共施設整備基金繰入金でございます。

19款繰越金3,419万6,000円。

20款諸収入2,050万円、コミュニティ助成事業1,750万円、三鷹市連携事業負担金300万円でございます。

21款町債790万円、過疎対策事業債600万円、緊急自然災害防止事業債190万円でございます。

歳入合計2億730万円。

3ページをご覧ください。

続きまして、歳出でございます。

共通事項といたしまして、人件費315万8,000円、人件費の調整でございます。

款別の概要を申し上げます。

2款総務費2,932万円、情報処理費387万6,000円、中間サーバー次期システム構築への対応でございます。コミュニティ助成事業1750万円、十王地区が行うコミュニティ活動用備品の整備、菖蒲区が行う分館施設の整備に要する経費に対し助成するための対応でございます。地区コミュニティセンター費420万円、分館施設整備事業の申請増加に対応するための追加計上でございます。デジタル推進事業374万4,000円、デジタルトランスフォーメーション導入による業務効率化支援等への対応でございます。

続きまして、3款民生費9,474万8,000円、低所得者支援及び定額減税補足給付事業8,974万3,000円、新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置への対応でございます。第2期健康と福祉の里構想推進事業200万円、第2期健康と福祉の里構想の推進に向けた追加調査への対応でございます。放課後児童クラブ施設整備事業60万5,000円、鮎貝の放課後児童クラブの空調設備更新への対応でございます。

4ページをお開きください。

衛生費112万1,000円、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業82万5,000円、過年度償還金への対応でございます。

続きまして、6款農林水産業費4,620万8,000円、魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業730万7,000円、園芸産地をリードする競争力の高い経営体の育成を図るための農業用施設導入支援への対応でございます。農地利用効率化等支援事業379万1,000円、農地利用・生産の効率化に向け農業用機械の導入支援への対応でございます。林業振興費1,657万4,000円、森林再生基金への元金積立ての対応でございます。森林・林業再生事

業1,117万2,000円、脱炭素社会に向け東京都三鷹市と連携した再造林整備への対応、コンテナ苗生産基盤施設を整備する事業者に対する支援等への対応でございます。みどり環境交付金事業53万1,000円、自然・森林学習など地域提案事業の追加に伴う対応でございます。有害鳥獣対策事業493万3,000円、イノシシ被害対策用物品の購入支援等への対応でございます。緊急自然災害防止事業190万円、林道中の沢線の災害防止工事に向けた対応でございます。

5ページをご覧ください。

7款商工費956万1,000円、交流推進事業151万円、東京オリンピック・パラリンピックにおける本町のホストタウンである中国との交流事業実施への対応でございます。ふるさと森林公園管理事業572万4,000円、ふるさと森林公園の設備機能回復等への対応でございます。ヤナ公園管理事業100万円、施設修繕を行うための対応でございます。産業センター管理費46万6,000円、設備の更新を行うための対応でございます。

続きまして、8款土木費1,000万円、町道維持補修費400万円、緊急工事分等の追加計上でございます。鈴振田神明線道路改良事業600万円、計画的修繕に向けた測量設計への対応でございます。

6ページをお開きください。

10款教育費1,002万3,000円、小学校管理費105万2,000円、施設修繕を行うための対応でございます。中学校管理費137万2,000円、環境改善に向けた調査への対応、施設修繕への対応でございます。伝統芸能保存伝承事業50万円、高玉芝居特別公演に向けた支援への対応でございます。スキー場運営事業費608万1,000円、ペアリフト機械周りの機能回復のための対応でございます。

続きまして、12款公債費631万9,000円、公債費の構成比の分でございますけれども、分収林契約解除に伴う繰上償還への対応でございます。

歳出合計2億730万円。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。歳入歳出一括して質疑を行います。

8番、笹原委員。

○8番（笹原俊一） ご質問いたします。

概要書4ページ、農林水産業費でございますけれども、有害鳥獣対策事業、イノシシ被害の対策用の物品の購入ということで、わなとか通信機器が大幅に増設されるということで非常に待望されたものだったと思っておりますけれども、設備が整うわけでございます。ただ、実施をする実施隊、猟友会の皆様との連携、今年度からもしっかりと綿密な連携を取られるものと理解しておりますけれども、その辺、いかがでしょうか。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） お答えをいたします。

今回、捕獲の捕獲圧を高めるため、わなの購入ということを考えております。実施隊とお話ししながら今、管理ができる量とか、その辺も含めて今回、増設というのを考えておまして、今後も実施隊等とも連携しながら捕獲圧を高めていきたいと考えております。

○委員長（山田 仁） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 予算書の10ページ、概要書の4ページでありますけれども、地球温暖化対策再造林整備事業、三鷹市との連携事業ということでお伺いたします。産業建設常任委員協議会でもご説明をいただきましたけれども、まだ分からない点がございまして追加でお聞きしたいなと存じます。

310万円ということでありましてけれども、三鷹市から交付金をいただいて行う造林事業でありますけれども、2.2ヘクタールの造林をされますけれども、三鷹市の取組の考え方、もしくは本町にはどのようなことを求められているのか、その辺の考え方をお聞かせいただきたいと思っております。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） お答えをいたします。

今回の事業、三鷹市との連携において三鷹市の環境譲与税をこちらにいただいて白鷹町の未栽地、まだ造林をしていないところに植栽をするということで、三鷹市としては、環境譲与税をいただいている中で、三鷹市がカーボンゼロシティという宣言をされていて二酸化炭素削減をどれだけやったかというのを全国的にやっていきたいというのがあるらしくて、今回については友好都市である白鷹町と三鷹市の間で連携協定を結んで植栽をしていくと。植栽をした分の二酸化炭素吸収量については三鷹市が吸収量、二酸化炭素の吸収対策をやったということを公にしていくというのが目的という話を聞いております。

今後についても、1回だけという話ではなくて、連携して支援していただけるのではないかと考えておるところでございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） ありがとうございます。

確認でありますけれども、三鷹市からの支援を受けて再造林を行う2.2ヘクタール分で吸収される二酸化炭素量の行方が気になるところでありますけれども、2.2ヘクタール分の吸収量というのは、いわゆる三鷹市の実績と考えることになるのか、その辺をお聞かせください。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） お答えをいたします。

この2.2ヘクタール分の二酸化炭素吸収量の計算につきましては、まだ計算が終わっているわけではなくて、その後、県の認証とかを受けながらどのくらい二酸化炭素が吸

取されたかという形になるかと思えます。

これについては、三鷹市にお渡しするという形になって三鷹市がどのくらい吸収をやりましたという形になっております。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

続きまして、有害鳥獣関連でもう1点お聞かせいただきたいと思えます。

産業建設常任委員協議会では具体的なお説明ありませんでしたが、10ページの野生鳥獣市街地等出没対策事業12万円ということで計上されておりますけれども、この事業についてもう少し具体的な説明をお願いします。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） ご説明いたします。

ここにあります市街地等の鳥獣対策については、近年、ツキノワグマの出現ということで、以前から県からも話があったと思うのですが、果樹等の柿の木とか栗の木の果実を残さずにとってほしいと。それが誘因になっているという話でお願いというのがされていたかと思えます。実際、もう既に住宅の周りで取っていないとか、そういう柿の木、栗の木について除去ができることについて県、町が支援して地区の方、個人の方、地区の区長さんとかその辺からの要請があれば、この事業を使って除去してしまっ、誘因の原因をなくしていこうという形でございます。ただ、額的になかなか小さいものですから大々的にはできないというのが現状でございます。以上でございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） ありがとうございます。

この事業名を見ますと、市街地等というようなことでありますけれども、本町の場合は市街地よりも郊外、もしくは中山間地域等が生活圏が多いわけでありまして、当然、山裾の辺りの集落で柿の上に登っていた熊を発見したということ、去年も大分そういった話をお聞きしますけれども、市街地等に限らず、そういったこの事業を活用することが可能なのか、もう一回確認したいと思えます。

○委員長（山田 仁） 永野林政課長。

○林政課参与（兼）課長（永野 徹） この事業は最寄りの住宅地から約200メートルぐらいの距離にある、そういう樹木ですね、そういう木を切つていいということになっていきますので、例えばちょっと外れたところでもこの木が誘因になるという形だったら200メートルぐらい住居から離れたところまで可能と考えております。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。本当に今までにない新たな有害鳥獣対策の取組として期待するところでありまして、先ほどご説明もありましたけれども、12万円という多くとは言い難いような予算の中でありまして、今後の取組によってとい

うことになると思うのですが、こういった期待される事業を今後ともますます予算的にも拡充していければいいのかなと思いますけれども、その辺はいかがでしょうか。

○委員長（山田 仁） 佐藤町長。

○町長（佐藤誠七） 有害鳥獣につきましては、ご案内でありますとおり、本当に町内全域にわたっての被害が出ていると。そして、特にイノシシだけではなくて熊も相当数、出ている場所もあります。もう一つは、やはり鹿も出没しておりますので、この辺を総合的に対応していくということではありますが、先ほども質問ありましたように、実施隊と調整をしながらということに、我々が直接手を下すわけにもいきませんので、この辺については調整をさせていただきながら、そして、必要なものは順次拡充をしながら被害をできるだけ抑え込むということで頑張っていきたいと思っておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

○委員長（山田 仁） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 2点ほどお伺いいたします。

概要の3ページをお開きください。2款総務費の4番目でございます。デジタル推進事業374万4,000円、こちらについてお伺いをいたします。DX導入による業務効率化支援等への対応というようなことをご説明をいただいたわけなのですが、DXの導入というと、なかなか難しい面もあるし、少し時間をかけてやらなければいけない部分もあるのかなと感じておりますけれども、様々な情報を見ておりますと、どうやって専門人材を集めるのかと、どうやって人を育てるのかというようなことが一つ大きい課題になっているようでございます。そういったことを前提としてこのDX推進に当たって白鷹町でどんなものが課題になっているのか。そして、この推進事業でどういった取組をしたいということを考えておられるのかお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

DXの推進に関しましては、当町のみならず、中小の自治体におきましては、議員おっしゃるとおり、自治体として専門職の配置というのが大変難しい状況となっております。またSE、システムエンジニアの不足も全国的な課題となっていると認識しております。

今回の補正のDX導入による業務効率化への支援につきましては、現在、町では第6次総合計画の後期基本計画とともに、DX推進計画の策定に取り組んでいるところでございます。それに合わせまして民間事業者の活力を活用して事業を進めたいと考えておまして、今回こちらの委託になりますが、業務の改善に対するDXの導入などについて研修やコンサルティングを委託するものでございます。以上です。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。コンサルティングまで含めてということで包括的な

取組も始まるのかなと思いますが、現時点でそのスケジュール感的なものがあればお伺いをいたします。

○委員長（山田 仁） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

こちらにつきましては、早めにそういった委託を行いまして、先ほど申し上げましたが、今年度の後期基本計画にいろいろなところを反映させるように民間事業者と調整を行いたいと考えております。以上です。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

続いて、概要の5ページをお開きください。

7款商工費の最初の項目でございますが、交流推進事業についてお伺いいたします。中国との交流事業実施への対応ということでご説明をいただきましたが、具体的にどういったことをなされるのか。そして、その対象となるのはどういった方なのか、そのあたりについて概要をお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） ご説明を申し上げます。

今回の中国との交流事業につきましては、2020年の東京オリンピックの開催に合わせまして中国とソフトボール競技でホストタウンということで交流事業を行ってきたところではございますけれども、コロナ禍により中断していたというところではございました。それを今年度からまた再開したいということで考えているものでございます。具体的には中国の子どもさんをこちらにお招きをいたしまして、本町の子どもたちとのスポーツを通じた交流などができればということで今のところは考えているところでございます。以上です。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。この計画は、交流というのは1回、1年度だけやって交流が進むというのは難しいかなと思います。継続的にこういった取組を進めていくというお考えがあるのかどうか、お伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 佐藤町長。

○町長（佐藤誠七） このたびの交流に関しましては、やはり長期的な戦略を持ちながらということは考えておりますけれども、今の国情、国の状況を鑑みた場合に果たしてそういくのかどうか、非常に不安定な要素もあります。これは直接いろいろお伺いしても、やはり大分大きな国の北と南ではそういう国情の差異もあるようでございます。私どもとしては今、できれば南の地域の方々の子どものさんを招聘し、交流をしたいと思っておりますが、果たしてそのとおりにいくのかどうか、これすらまだ先が見通せない。

ただ、今までの関係からいきますと、トヨタ自動車のソフトボールの関係者の皆さん

のご尽力でホストタウンにさせていただき、さらにその交流を深めていきたいというときに、残念ながらコロナでこれは中断せざるを得なかったわけですが、まず再興といえますか、もう1回起こしてみたいという中でその方向性はこれからいろいろ詰めていけるかどうか判断してまいりたいと思っているというのが実情でございます。

○委員長（山田 仁） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 何点か質問させてください。

概要書の3ページでございますが、2款総務費の中の地区コミュニティセンター費の分館施設整備費補助金でございます。申請増加に対応するための追加計上ということで420万円ほどございますが、この追加申請の増加に関してその傾向といいますか、どういったものが多かったのかお伺いをいたします。

○委員長（山田 仁） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

この事業につきましては、当初予算の前に各分館にご案内を差し上げまして当初予算の編成を行っているところでございます。今回も4月に新たに分館にご案内を申し上げまして、こちらの追加があるかないかの確認をして予算計上をしたところでございます。

この中で一番大きいのは、分館の新築事業、コミュニティ助成事業にもございますが菖蒲分館の新築事業として300万円というのが一番大きいものでございます。そのほか各分館からご要望ありました120万円についてこちらに計上させていただいたものでございます。

傾向といたしましては、例年でございますが、屋根、雨樋の工事、また備品の購入等がございます。また、最近でありますと、エアコンの設置も多くなっている状況と見ております。以上です。

○委員長（山田 仁） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 4分の3ほど菖蒲の分館という話でしたが、その中でちょっと気になった120万円の中でもエアコンの設置というところでございますが、暑い夏が続いているわけですが、いまだにエアコンがついていない分館というのものもあるわけでしょうか。

○委員長（山田 仁） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

エアコンがついている分館とついていない分館については把握しておりません。こちらは地区の必要性に応じて設置していただくこととなると思っております。

また、分館においては夏の事業が少なく冬場の事業が多いところもございますので、そちらは地区で調整していただきましてご要望いただければと思っております。以上です。

○委員長（山田 仁） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） その件に関しては分かりました。

次ですが、3款民生費の中の低所得者支援及び定額減税補足給付金の事業の中でございますが、所管の総務厚生常任委員協議会でも一度説明はいただいておりますけれども、改めてちょっと確認だけさせていただきたいと思っております。特に低所得者支援給付金に関してですけれども、今回は新たに対象となった方ということですが、令和5年度において申請の対象であったけれども申請まで至らなかったという世帯等に関しては、今回の対象になるのかどうかお伺いをいたします。

○委員長（山田 仁） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） お答えいたします。

今年度につきましては、新たに住民税非課税となる世帯の方が対象になりますけれども、令和5年度より継続している住民税均等割のみ課税世帯の方で既に該当している世帯の方については、このたびの低所得者支援給付金の対象から除くものとされております。

均等割のみ課税世帯の対象者、世帯数につきましては約320世帯と把握しております。現在申請済みの世帯は約300世帯となっております。まだ申請されていない2世帯の方については文書等で勧奨をさせていただいております。以上です。

○委員長（山田 仁） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） そういったご配慮よろしく願いいたします。

最後でございますが、その下の第2期健康と福祉の里構想の推進事業で追加調査という対応で200万円ほどございますが、内容を教えていただきたいと思います。

○委員長（山田 仁） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） お答えいたします。

第2期健康と福祉の里構想推進のための財源といたしまして、国庫補助金の申請をしております。昨年度、施設の長寿命化を主として行った健康福祉センターの実施設計にさらに子育て支援、健康づくり等の充実に資する機能を盛り込むための調査業務を委託するものでございます。以上です。

○委員長（山田 仁） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 子育て支援ということも入りましたが、先ほどの一般質問でも町長の答弁の中で、出生率が全国で1.2だったと。本県においても1.22だったと。本町においては、今年度はまだ出てないようすけれども、昨年度においても1.01ぐらいだという東京都並みだということもございました。こういった出生率向上への効果も期待できるという認識でよろしいでしょうか。

○委員長（山田 仁） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） 竹田委員からもありましたように、町の令和4年度の出生率につきましては、県の今年度の出生率よりも低い状況となっております。

健康福祉課といたしましては、婚活サポート事業の推進等、今後も力を入れていきま

すとともに、令和6年度、こども家庭センターを設置いたしまして母子保健から子育て支援まで連携しながら対応していく体制を取っております。

第2期健康と福祉の里構想につきましても、子どもさんの交流を図りながら親御さんがコワーキングスペース等で働けるようなシステムをつくってまいりたいと思っております。子育て支援の推進につきまして、また、子どもさんを産み育てやすいまちづくりの推進につきまして、このセンターを中核として行っていきたいと考えております。以上です。

○委員長（山田 仁） 佐藤町長。

○町長（佐藤誠七） この出生率でございますが、今、委員おっしゃったとおり、本当に低い状態でございます。日本全体でも1.20、先ほども一般質問の中で答弁をさせていただいたわけですが、かなりこれから大変な状況が起きるのではないかと私は心配をしております。

なぜかということがなかなか分からないところあるんですが、実は先般、あるところでいろいろなお話をさせていただいたときに、白鷹町は非常に住みやすいというような評価をいただいております。

しかしながら、現実はどうかと、足元を見直してみますとこのとおりの状態と。この辺については、これから果たして我々環境づくり、これから住宅政策などもやってまいりたいと思っておりますけれども、委員の皆さんも含めて町全体として皆さんにリーダーシップを取っていただきながら、どうやったら子どもが誕生できるような環境になるか、それを育てる環境もつくっていききたいと。

今、課長が申し上げましたとおり、行政としては私はかなり頑張っているものだと評価をさせていただきたいのですが、残念ながら地域の中ではどんどん空き家が出てくる、そして子どもが生まれないというような状況が続いておりますし、毎日、最近はここ2日はないんですが、90歳という方々がお亡くなりになって、もう本当に子どもさんがその分、生まれてくれればいいんですが、残念ながら出生がないということ、本当にこれから大きな地域課題として捉えながら我々としてはその環境づくりを頑張っていきたいと思っておりますので、何とぞ強力なご支援、ご指導をよろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（山田 仁） 6番、丸川委員。

○6番（丸川雅春） 1点だけ伺いたいと思ひます。

概要書の5ページの7款商工費であります。ヤナ公園管理事業の施設修繕の内容について伺いたいと思ひます。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

このヤナ公園の施設修繕につきましては、今年の4月中旬頃ですけれども、川が増水

しましてその際にヤナが破損して穴が空いてしまったというような状況がございまして、その修繕の対応を行うものでございます。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） ヤナに穴が空いて破損したということではありますが、穴の空いた原因をまず伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

ヤナ公園の管理をしている方からご連絡をいただいて当課の職員も確認に行っただけですが、まず増水をしていて穴から水が入っているという状況は確認できたのですが、何が原因でということまでは正直、その場では分かりませんでした。

ただ、付近には大きな切り株ですとか、あとは土砂も堆積している状況ですので、そういう何か大きなものが流れてきてその衝撃によって破損したものとは推察しているところでございます。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 分かりました。流れてきたものがひっかかったというものか、推察ということなので、そういう未然に防ぐ対策ができるかできないか分かりませんが、今後、検討していく予定というものはおありでしょうか。

○委員長（山田 仁） 佐藤町長。

○町長（佐藤誠七） 最上川の浮遊物を途中で防ぐと。内水の場合ですと、樋門のところに防護柵を作りながらプラスチック等々が流れていかないようにするというのは検討もしたことがありますし、実際やったこともあります。美しい山形・最上川フォーラムでそれを推奨した時代があったんですが、残念ながらそれも余り効果を見せないというようなこと、現実的には上郷ダムに貯留になったのを見ますと、ほとんど分かるのですが、下流から流れてきませんので必ず上流から流れてくると。川だけではないということは言えるということだと思います。

そのようなことがあって大木が流れてくるということは以前からあったんですが、その大木が流れてきてもヤナの座敷を壊すということは余りなかったんですが、ここ3年ぐらい前ですか、それもありましたし、一番前の雁木があるんですが、雁木が壊れるともうヤナとしての機能はもたないということでもありますので、去年、一昨年ですか、相当大規模な工事をやって水を流してそれで直したというケースはありますが、やはり浮遊物を防ぐということは、ちょっと最上川ですと難儀、できないということはないと思いますが、難儀な事業であると私は認識をしているところでございます。

○委員長（山田 仁） ほかに債務負担行為補正等で何かございせんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑終結と認めます。

○議第46号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に移ります。

議第46号 令和6年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。大木町民課長。

○町民課長（大木健一） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要6ページをご覧ください。

国民健康保険特別会計につきましては、歳入歳出それぞれ353万1,000円の補正を行うものでございます。

概要といたしましては、マイナンバーカードと健康保険証を一体化する制度改正の対応といたしましてシステムの改修のほか、周知のためのリーフレットの印刷などを行うものでございます。

説明は以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 歳出の部分でお伺いします。システム改修委託料ほかでありますけれども、このマイナンバーカードと健康保険証を一体化するということではありますが、12月からは現在の健康保険証が使えなくなるとお聞きしておるわけではありますが、それに対する対応ということだと思っておりますが、肝心のマイナンバーカードの本町の現在の取得率はどれくらいになっているのか、お伺いします。

○委員長（山田 仁） 大木町民課長。

○町民課長（大木健一） お答え申し上げます。

令和5年度末、令和6年の3月31日の数字となりますけれども、82.02%の取得率となっております。人口からいきますと、未取得者が大体2,200人ほどいらっしゃるかと把握をしているところでございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 約2,200人ほどの方が未取得というようなことではありますが、健康保険証が使えなくなった場合のこういった方々への対応というのは、町として今後、どういう形で行っていくのか、お聞きします。

○委員長（山田 仁） 大木町民課長。

○町民課長（大木健一） お答え申し上げます。

12月2日から切り替わることになるのでございますが、マイナンバーカードをお持ちでない方、またひもづけをされないと健康保険証として使えないということになりますので、そういった方には資格確認書というものが送付されることになります。

また、資格情報のお知らせというのをマイナンバーカードをお持ちの方に交付するものということになるんですけども、それを対象の方にお送りするという段取りをこれから組んでいくところでございます。

○委員長（山田 仁） 質疑終結と認めます。

○議第47号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 続いて、議第47号 令和6年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書案の概要について説明を求めます。永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要6ページをご覧ください。

介護保険特別会計の概要でございますが、歳入歳出それぞれ6万5,000円の補正を行うものでございます。

概要及び説明につきましては、介護認定審査会委員の報酬改定に対応するための総務費6万5,000円の補正を行うものでございます。

説明は以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

○議第45号の採決

○委員長（山田 仁） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第45号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第1号）についてを採決いたします。

議第45号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第46号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第46号 令和6年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第46号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第47号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第47号 令和6年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第47号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（山田 仁） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算3件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○委員長（山田 仁） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（山田 仁） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後3時41分〉